

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-72036 (P2019-72036A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2017-199181 (P2017-199181)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 16 日 (2019.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
特別演出を実行可能な特別演出実行手段を備え、  
前記特別演出実行手段は、

第 1 特別演出を実行する第 1 パターンと、第 2 特別演出を実行する第 2 パターンと、  
第 1 特別演出と第 2 特別演出とを並行して実行可能な第 3 パターンとを含む複数種類のパ  
ターンのうちのいずれかのパターンにより特別演出を実行可能であり、

前記第 3 パターンにより特別演出を実行する場合に、第 1 特別演出に対応する第 1 演  
出表示を表示する第 1 演出表示領域と、第 2 特別演出に対応する第 2 演出表示を表示する  
第 2 演出表示領域と、において、それぞれ第 1 演出表示と第 2 演出表示とが表示された状  
態から、共通の演出表示が表示された状態に切り替え可能であり、

前記第 1 パターンにより特別演出を実行する場合と前記第 2 パターンにより特別演出  
を実行する場合は、異なる演出期間にて第 1 特別演出と第 2 特別演出とを実行するととも  
に、前記第 3 パターンにより特別演出を実行する場合は、同じ演出期間にて第 1 特別演出  
と第 2 特別演出とを実行する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、特別演出を  
実行可能な特別演出実行手段を備え、特別演出実行手段は、第 1 特別演出を実行する第 1  
パターンと、第 2 特別演出を実行する第 2 パターンと、第 1 特別演出と第 2 特別演出とを  
並行して実行可能な第 3 パターンとを含む複数種類のパターンのうちのいずれかのパター  
ンにより特別演出を実行可能であり、第 3 パターンにより特別演出を実行する場合に、第  
1 特別演出に対応する第 1 演出表示を表示する第 1 演出表示領域と、第 2 特別演出に対応  
する第 2 演出表示を表示する第 2 演出表示領域とにおいて、それぞれ第 1 演出表示と第 2

演出表示とが表示された状態から、共通の演出表示が表示された状態に切り替え可能であり、第 1 パターンにより特別演出を実行する場合と第 2 パターンにより特別演出を実行する場合は、異なる演出期間にて第 1 特別演出と第 2 特別演出とを実行するとともに、第 3 パターンにより特別演出を実行する場合は、同じ演出期間にて第 1 特別演出と第 2 特別演出とを実行する、

ことを特徴とする。

(手段 1) また、他の遊技機として、遊技を行うことが可能な遊技機であって、特別演出 (例えば、スーパーリーチ演出 A ~ C のうちのキャラクタ演出 A, B) を実行可能な特別演出実行手段 (例えば、演出制御用 CPU 120 におけるステップ 87 IWS 012, 87 IWS 014, 87 IWS 105, 87 IWS 142, 87 IWS 148 を実行する部分) を備え、特別演出実行手段は、第 1 特別演出 (例えば、スーパーリーチ演出 A のうちのキャラクタ演出 A) を実行する第 1 パターン (例えば、スーパーリーチ演出 A) と、第 2 特別演出 (例えば、スーパーリーチ演出 B のうちのキャラクタ演出 B) を実行する第 2 パターン (例えば、スーパーリーチ演出 B) と、第 1 特別演出と第 2 特別演出とを並行して実行可能な第 3 パターン (例えば、キャラクタ演出 A とキャラクタ演出 B とを並行して実行可能なスーパーリーチ演出 C) とを含む複数種類のパターンのうちのいずれかのパターンにより特別演出を実行可能であり、第 3 パターンにより特別演出を実行する場合に、第 1 特別演出に対応する第 1 演出表示 (例えば、キャラクタ演出 A の表示) を表示する第 1 演出表示領域 (例えば、画像表示装置 5 の左側の表示領域) と、第 2 特別演出に対応する第 2 演出表示 (例えば、キャラクタ演出 B の表示) を表示する第 2 演出表示領域 (例えば、画像表示装置 5 の右側の表示領域) とにおいて、それぞれ第 1 演出表示と第 2 演出表示とが表示された状態から、共通の演出表示が表示された状態に切り替え可能である (例えば、図 20 - 18 (D) に示すキャラクタ演出 A とキャラクタ演出 B とが並行して実行されている状態から、図 20 - 19 (E) に示す共通演出 2 が実行されている状態に切り替えられる)、

ことを特徴としてもよい。そのような構成によれば、特別演出を実行する場合の演出効果を高めることができる。